

# いわた羅針盤

ら しん ばん

2026年  
5月号  
5/1発行

No.105

令和8年2月定例会



特

集

重層的支援体制について

## CONTENTS

- P 2 特集 重層的支援体制について
- P 4 2月定例会議案審議
- P 9 委員会審査
- P 11 一般質問 (10人)
- P 17 議場の音響・映像設備改修 ほか
- P 18 ご意見紹介
- P 19 インフォメーション
- P 20 審議結果 ほか

# 特集 重層的支援体制について

(複雑化・複合化する福祉分野の課題を解決するための支援体制)

市議会民生教育委員会では、「福祉分野における重層的支援について」をテーマとして、支援の状況を調査・研究しています。複雑化・複合化する福祉分野の課題に対し、分野を超えた多くの機関が協働して支援する仕組が重要と考え、関係機関の方に現状と課題、支援体制整備により期待される効果等をお聴きしました。(取材日：令和8年1月8日)  
 (聴き手：市議会民生教育委員会 松野正比呂委員長、平田直巳副委員長、岡實委員、高梨俊弘委員、秋山勝則委員、高塚静子委員、宮崎真理子委員、永井新次委員)



磐田市障がい者相談支援センター  
まつもと 松本 一男さん



豊田地域包括支援センター  
すずき たみこ 鈴木 多美子さん



磐田市社会福祉協議会  
おぐり 小栗 のぶよし 伸介さん



磐田市くらしと仕事相談センター  
みずの こうすけ 水野 晃佑さん

## 支援の現状と課題は。

**鈴木** 地域包括支援センターは、65歳以上の高齢者とその支援者のための総合相談窓口です。最近、介護だけでなく生活全般にわたる相談が多く、価値観の多様化や人間関係の希薄化が高齢者の生活に直面してきていると感じます。

**松本** 障がい者相談支援センターは、知的障がい・精神障がい・身体障がいなど、どの障がいにも相談支援を行っています。最近、障がいの受け止めや地域での障がいへの理解の問題などが重なった、複合的な課題を抱える家族が増えていると感じます。

**水野** くらしと仕事相談センターは、生活に困窮している方の支援を行っています。家族の問題や住まいの問題など色々な問題が複合的に重なった中で生活困窮者になっていくと感じています。また、家族関係の希薄化や就労形態の変化により、孤立や孤独状態にある方が増えてきている印象があります。そういった方に、どのように社会復帰を目指していただくか、資源や選択肢が限られてきてしまうことを課題に感じています。

**小栗** 社会福祉協議会は、地域福祉活動の支援を事業の柱としていま

行政や民間の機関が連携・協力して課題解決に取り組める重層的支援体制の整備が非常に大事だと改めて感じました。

す。活動で受けた相談については、専門分野につなげる、関連する情報を提供する、社会福祉協議会として支援を行うなどの対応をしています。やはり、複雑化・複合化した課題を抱える世帯が増えている印象です。福祉や医療は、早めに相談や対応ができれば、深刻になる前に対処できることを地域住民に広く伝えていくことが課題です。

## 重層的支援体制整備による期待される効果は。

**鈴木** これまでは縦割りの施策の中での支援体制ですが、これからは相談支援機関が連携して支援することが求められていると思います。また、引きこもりやゴミ屋敷問題など、制度の狭間にいる方への支援が必要だと思えます。しかし、支援の受け方が分からなかったり問題であること認識していない人たちが埋もれてしまっているのです、その人たちが発見していく仕組みも必要になってくると感じています。

**松本** 重層的支援体制では、それぞれの専門性とお互いの機関を尊重しながら力を合わせてやっていければと思っています。

**水野** 重層的支援体制が整備され役割分担が明確になることにつながることはいいと思いますが、やはり、

事業に関わる人がいかに連携をしていけるかが大事になると思います。

**小栗** 複雑化・複合化した課題に対して、関係機関が役割分担をして連携して関わることで、課題の解決や世帯の自立に向けた支援がスムーズに進んでいくと考えます。

## 人材育成への取組・意見は。

**鈴木** 福祉・医療・介護の専門職の配置が義務付けられていて、住民の多様な相談に対応していかなくてはならないため、経験の浅い職員をサポートして経験値を増やしていくような、職場ぐるみでの育成が課題です。

**松本** 高校生や大学生に福祉の仕事の魅力を伝えるため、大学へ講義に行かせていただいたり高校生に話をさせていただいています。若い世代の人に障がい福祉の仕事の魅力を感じてほしいと思います。

**水野** 制度がたくさんあり複雑化している、自分がまず制度を理解し、同じ職場で働くスタッフと一緒に勉強しながら理解を深め、仕事をしていくことが大切だと思っています。やはり、何のためにやっているのかを見失わないような人材を育てていきたいと思っています。

**小栗** 様々な支援をしていく中で、経験値を少しずつ積んでいくことが

一番だと感じています。また、市内の社会福祉法人で連絡会を組織し、各施設の相談員等のスキルをお借りして、「福祉なんでも相談」という活動に取り組んでいます。

**鈴木** 地域包括支援センターだけでは対応が厳しいことも多く、行政のバックアップや行政が把握している情報を共有しチームとして支援していくことで前進していると実感しています。

**松本** 障がいのある方に優しいまちは、誰にでも優しいまちになると思います。ですので、子どもや大人が障がいのある方への理解を深める場を一緒につくっていただけたらいいなと思っています。

**水野** 市民の皆さんが不安なく相談できる体制づくりが今後しっかりでき上がっていくように、市にバックアップしていただきたいと思っています。

**小栗** 地域の課題とその解決について、地域の皆さんも「我が事」として考え、関係機関と一緒に取り組んでいくことについて理解を広げていただきたいと思っています。

市民の方の様々な課題が、複合化・複雑化してきていることを知りました。そうした中で、これらの課題に取り組んでいくには、関係する



令和8年  
2月  
定例会

# 議案審議

会期 2月16日～3月24日 (37日間)

2月定例会の様子は、インターネットで録画配信しています。  
質疑や討論は内容を要約して掲載しています。  
詳しくは、インターネットの録画映像でご覧いただけます。

磐田市議会 配信 検索



**問** 緑化推進事業のうち、さくら百年プロジェクトの内容は。

**答** グリーンインフラ推進の一環として、市内全域に桜の植樹を推進する事業である。具体的には、公共施設や公会堂、神社・仏閣等の地域施設、企業への植樹の支援を行っているものである。

**問** 竜洋海洋公園再整備事業について、施設の老朽化の現状、再整備基本構想策定支援業務委託料の内容、これまでの運営実績の評価と今後の運営の在り方、事業のスケジュールは。

**答** 施設の設置から20年以上が経過し老朽化が進んでいるため、必要な修繕を行っている。業務委託の内容は、再整備における基本構想の策定や民間活力導入の可能性調査、民間事業者へのサウンディング調査等である。これまで指定管理者が各施設の特性を生かした事業を展開し、幅広い世代に施設をご利用いただいていると評価しており、今後は公園全体の再整備を検討していく中で、Parki-PFIなど様々な手法による事業の可能性を調査していきたい。まずは、再整備に関する基本構想の策定と民間活力導入の可能性調査



**問** 旧市民文化会館跡地利活用官民連携導入調査委託料の内容は。

**答** 主には、基本方針の内容に基づき民間資金を活用した施設整備に向けて作成する事業実施方針案の作成支援と、事業者募集・選定を行うための募集要項の作成支援、事業実施方針案の内容精査を目的とした民間事業者へのサウンディング調査である。

**問** 校内教育支援センターを開設する6校の選定理由と学校内へ設置する理由は。

**答** 未設置の学府の小学校と、不登校児童数が多いなど必要性の高い小学校に設置する。自分の教室へ入ることに不安や困難を感じている児童生徒に対して、校内に安心して過ごせる居場所を確保するため、校内に設置する。

**賛成** 一定の市民要望を実現し、市民生活を支える予算

地方自治体が「住民福祉の機関」として果たすべき役割を総合的に見た場合、一定の市民要望を実現し、市民生活を支える予算となっていると判断する。

賛成する主な内容は、小学校給食費が公費負担により完全無償化されること、学校施設の整備として富士見小学校の教室棟の増築と小中学校体育館への空調設備の設置が継続して実施されること、磐田北小学校の整備に向けた基本構想の策定に着手すること、水災害対策プランに基づく災害に強い森林づくり等の前進が図られていることである。

さらに充実すべき点は、ジェンダー平等社会の推進のための取組と、さらなる積極的な平和事業の推進である。また、民営化・民間委託化に走るのではなく市職員の正規雇用の確保と、浜岡原発の再稼働には、廃炉を含め厳しい姿勢で臨むことを求める。

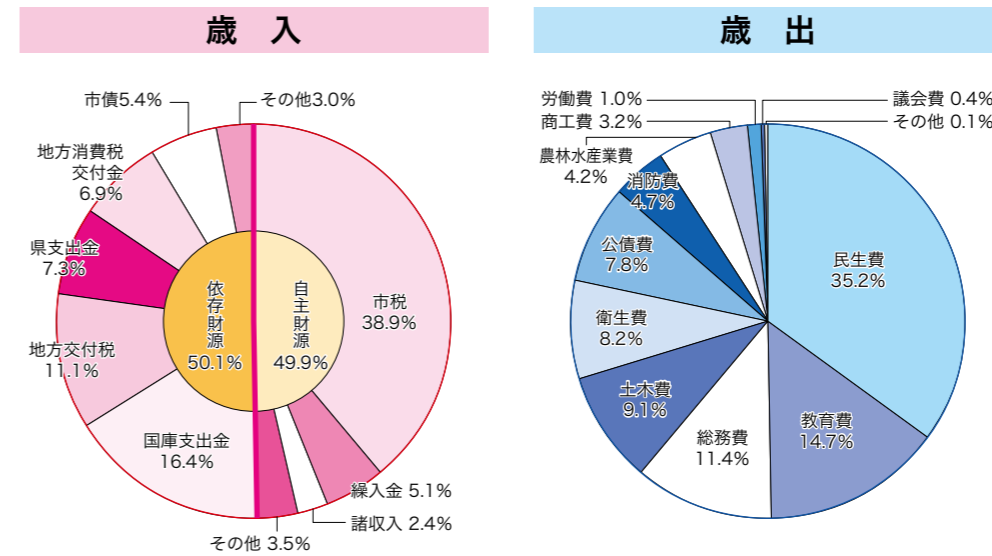
日本共産党磐田市議団 根津康広 議員

## 8年度各会計予算などを審議

2月定例会では、一般会計をはじめとした8年度各会計予算など、一般議案51件、人事議案2件を審議しました。  
なお、すべての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。

会派名の表記(人数)  
※8年3月24日現在  
「志」 志政会(7)  
「新」 新磐田(4)  
「せ」 せいわ会(4)  
「愛」 愛和(4)  
「創」 市民と創る磐田(3)  
「共」 日本共産党磐田市議団(2)  
「公」 公明党磐田(2)

## 【8年度一般会計予算額】 771億9,000万円



※四捨五入による端数処理のため、各区分の数値を合計した場合、合計欄の数値と一致しない場合があります。

## 8年度当初予算「3つの重点戦略」

- 活力ある地域経済の「共創」**
  - 公民連携コーディネーターの設置
  - 企業立地と操業を後押し
- 誰もが幸せに暮らせる社会の「共創」**
  - 自分の健康を守る健診受診環境等の充実
  - 公立幼稚園のこども園化(保育園枠を創設)
  - 向陽学府小中一体校の開校
  - みんなが主役のまちづくりを後押し
  - 小中学校体育館に空調設備を設置
  - くらしと仕事相談センター支援員の増員
- 緑・環境・にぎわいの「共創」**
  - 被ばく桜の接ぎ木に挑戦
  - 海岸堤防の整備促進
  - 歩道改良と街路樹の整備
  - 生物多様性と地域の共生推進
  - 遠江国分寺跡の整備～歴史を市民とともに育てる～
  - 旧市民文化会館等跡地の利活用

**賛成** 変化の激しい時代に対応した「安心」と「共創」の予算

本予算は、草地区長2期目の市政運営のもと、市制20周年を経たこれまでの歩みを踏まえつつ、変化の激しい時代に対応した「安心」と「共創」の取組を両立させるものと高く評価する。

「安心できるまち！共に創ろう魅力ある磐田」を基本目標に掲げ、市民のウェルビーイングとシビックプライドを育み、持続可能なまちづくりを推進しようとする姿勢が明確に示されている。予算規模は、大型事業の進捗に伴い適正化が図られているが、その中にも、小中学校体育館への空調設備設置や新消防庁舎の整備など、市民の学びと命を守る分野に重点的に投資がされており、未来を見据えた合理的な配分と評価する。加えて、副市長2人制の導入や新たな部の設置などの組織改編により、事業の推進体制づくりにも取り組んでいる。全体としてバランスの取れた予算編成となっている。

せいわ会 加藤公人 議員

議案第9号  
8年度一般会計予算

8年度一般会計予算は、7年度当初予算に比べ11.2%減の771億9千万円となりました。扶助費や人件費の増額、プレミアム商品券事業など物価高騰に伴う経済対策事業の計上があるものの、海岸堤防や向陽学府小中一体校の整備事業費が大幅に減額となることから、全体としては減額となりました。

全会一致で  
可決

議案  
第11号

8年度国民健康保険事業特別会計予算

賛成多数で  
可決

予算の総額は、7年度に比べ1.0%増の154億4308万1千円となりました。保険給付費、国民健康保険事業費給付金や保険事業費など、国民健康保険事業に必要な経費を計上したもので、主な財源は、保険税、県からの交付金や一般会計及び国民健康保険事業基金からの繰入金です。

(賛成：志・新・せ・愛・創・公 反対：共)

本会議での主な質疑

**問** 医療費通知等の送付方法や頻度と変更の経緯は。

**答** 送付方法に変更はないが、医療費通知の送付回数を6回から2回にする。変更の経緯は、医療費通知の内容をマイナポータルで確認できること、郵便料の値上げ等により、業務効率や経費削減を目的に通知内容を集約し、送付回数を見直しをした。

**問** 子ども・子育て支援納付金分創設の経緯と国保事業への影響は。

**答** 少子化・人口減少が危機的な状況にある中、「こども未来戦略」において、児童手当の抜本的拡充など、子ども・子育て政策の給付拡充を図ることになった。また、医療分、後期高齢者支援金分、介護分に加えて、子ども・子育て支援納付金分を賦課・徴収し、県へ国民健康保険事業費納付金として納付していくことになる。

討論がありました

反対 税率改定に反対

税率改定で一人当たり、約9700円の値上げになり反対する。18歳以下の子どもの均等割の引き下げ、滞納者への対応は、強制的徴収をやめ、国保税を払えない加入者の実情に応じ減免制度や分割納付など丁寧な支援を求める。

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員

賛成 健全な財政運営

被保険者1人当たりの事業費納付金の伸びを考慮した税率改定と低所得者に対する減免措置も講じられており、税率を据え置いた場合と比較して負担を先送りしない健全な財政運営に向けた対応が図られている。

せいわ会 平田直巳 議員

議案  
第12号

8年度後期高齢者医療事業会計予算

賛成多数で  
可決

予算の総額は、7年度に比べ8.6%増の30億6018万円です。後期高齢者医療事業の円滑な運営のため、広域連合納付金等の必要な経費を計上したもので、主な財源は、後期高齢者医療保険料及び一般会計からの繰入金です。

(賛成：志・新・せ・愛・創・公 反対：共)

本会議での主な質疑

**問** 保険料の改定内容と影響額及び滞納の状況は。

**答** 保険料改定の内容は、医療分の所得割合は8.95%、均等割額は5万100円となる。子ども分の所得割合は0.24%、均等割額は1300円となる。影響額は、8年度医療分の被保険者1人当たりの保険料額は約8万5千円となり、前年度予算と比較して、2566円の増加を見込んでいる。また、子ども分の被保険者1人当たりの保険料額は2161円となる見込みである。普通徴収保険料の滞納状況は、8年2月10日現在の滞納者数は409人で、7年2月現在の滞納者数322人より87人増加している。納付相談により滞納被保険者の収入、生活状況等の把握に努め、生活困窮とならないよう、計画的な納付に向けた話し合いを行っている。

討論がありました

反対 保険料の引き上げは医療の抑制につながる問題

75歳以上はそもそも病気を抱えることが多く、医療費が増え続けることが前提の医療制度は、構造そのものに問題がある。保険料は上がり続け、窓口負担も1割から2割となり、医療の抑制につながっていることは問題である。

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員

賛成 持続可能な事業運営を推進

被保険者数と医療費は増加し続けることが予想されるが、制度を支えている現役世代の負担を抑えつつ、負担能力に応じた受益者負担と同時に、低所得者への負担軽減措置も行なわれ、後期高齢者医療事業の持続可能な運営が進められている。

せいわ会 平田直巳 議員

議案  
第3号

7年度一般会計補正予算(第11号)

全会一致で  
可決

この補正予算は、歳入歳出予算の減額、繰越明許費の追加及び変更、債務負担行為の変更、地方債の変更であり、一般会計補正予算第10号の補正後の額から、歳入歳出それぞれ10億583万6千円を減額し、総額を882億558万5千円とするものです。

補正予算の主な内容

- 普通交付税の増額や職員退職手当の増額をはじめとした、各科目の決算見込み等を予算額に反映させる精算補正
- 電気料金等の高騰に係る指定管理委託料の増額
- 国民健康保険事業基金への積立を目的とした、国民健康保険事業特別会計への繰出金の増額
- 病院事業会計負担金の増額

本会議での主な質疑

**問** 職員退職手当の補正に至った早期退職者及び普通退職者の人数と内訳、当初予算時の見込みと大きな差異が生じた理由は。

**答** 募集による定年前早期退職者が11人、普通退職者が18人の計29人である。なお、普通退職者のうち60歳到達前が10人、60歳到達後が8人である。見込みとの差異は、予算編成時には人数の把握ができていないため、当初予算には計上していなかった定年前早期退職者と、

60歳到達前の普通退職者が多かったことによるものである。

**問** 磐田市ガバメントクラウドファンディング寄附金の減額理由と事業への影響は。

**答** 磐田市ガバメントクラウドファンディング活用支援事業として認定された「磐田シーサイドドリムフェス」の開催にあたり寄附を募ったところ、当初見込んだ寄附額1億2千万円に対し、315万2千円の寄附があり、実績に応じて減額を行う。事業実施者からは、企業からの協賛金などで対応できたため事業への影響はないと聞いている。

**問** 磐田山梨線改良事業の減額に伴い、変更した内容は。

**答** 当初予定していた事業費の中から、現時点で事業の進捗を図る上で影響の少ない道路改良箇所工事費及び1件分の土地購入費とそれに係る物件等移転補償費を取りやめ、8年度以降の実施へ変更した。

8年度 各会計予算

一般会計		令和8年度	令和7年度	増減
会計名	一般会計	771億9,000万0千円	869億7,000万0千円	△97億8,000万0千円

特別会計		令和8年度	令和7年度	増減
会計名	国民健康保険事業会計	154億4,308万1千円	152億8,702万6千円	1億5,605万5千円
	後期高齢者医療事業会計	30億6,018万0千円	28億1,733万5千円	2億4,284万5千円
	介護保険事業会計	148億504万5千円	143億4,595万5千円	4億5,909万0千円
	その他の特別会計※	7,338万9千円	1億684万1千円	△3,345万2千円

※その他の特別会計には、駐車場事業、4財産区の各特別会計の合計額を記載しています。

企業会計		令和7年度	令和6年度	増減
水道事業会計	収益的	収入 29億4,955万9千円 支出 28億3,263万0千円	収入 29億8,171万1千円 支出 28億4,160万2千円	△3,215万2千円 △897万2千円
	資本的	収入 7億5,024万9千円 支出 17億423万7千円	収入 6億2,761万7千円 支出 20億8,088万3千円	1億2,263万2千円 △3億7,664万6千円
下水道事業会計	収益的	収入 64億9,871万3千円 支出 64億4,339万9千円	収入 63億6,988万7千円 支出 62億6,795万6千円	1億2,882万6千円 1億7,544万3千円
	資本的	収入 26億9,509万3千円 支出 44億3,841万7千円	収入 23億4,112万3千円 支出 41億2,006万2千円	3億5,397万0千円 3億1,835万5千円
病院事業会計	収益的	収入 214億6,135万7千円 支出 235億2,859万9千円	収入 207億4,204万9千円 支出 211億1,501万7千円	7億1,930万8千円 24億1,358万2千円
	資本的	収入 18億7,249万6千円 支出 26億1,116万6千円	収入 23億7,741万7千円 支出 31億8,543万2千円	△5億492万1千円 △5億7,426万6千円

収益的収支…収益的収入は、水道事業の水道料収入、下水道事業の下水道使用料収入、病院事業の入院・外来の診療収入などをいいます。収益的支出は、職員給与や材料費、光熱水費などをいいます。資本的収支…主に施設を整備・拡充するために必要な経費と財源をいいます。

# 委員会審査

議会では、委員会を設置し議案を詳細に審査しています。その内容の一部をお知らせします。

<b>予 算 決 算 委 員 会</b>	■委員 長：鳥居節夫 ■副委員長：江塚 学 ■委員：議長を除く全議員
----------------------	--



御厨駅周辺航空写真（西から）

## 8年度一般会計予算

### 【歳出2款 総務費】

**問** 津波避難タワーの日よけシートの仕様は。

**答** 日よけシートは、タワーの躯体に影響のない簡易的で、光を遮断し風を通すポリエステル製のものを考えており、避難者が自ら簡単に張れるようにと考えている。

**問** 御厨駅周辺のまちづくりに係る基礎資料作成業務の詳細と、地域との関わりは。

**答** 国・県に、協議に入るための図面等の資料作成を考えた同時に、委託事業の中で古墳に関するデータを集め、文化庁との協議に必要な資料も作成していきたい。地域代

表の方に、少しずつ話をしており、今後、基礎資料が整った段階で、地域の方々に入っていただき、まちづくり構想を進めたいと考えている。

**【歳出3款 民生費】**

**問** 重層的支援体制整備事業の目標は。

**答** 包括支援相談事業では、窓口へ来た方の相談に寄り添って関係機関につなぐよう進め、多機関協働事業では、複雑化・複合化した事例をチームで支援ができる体制を目指す。参加支援事業、地域づくり事業は、住民に重層的支援体制整備事業を知っていたら、地域でできることをできる範囲でやっていただく住民を増やすことを目標に進めたい。

**問** こども誰でも通園制度の受入れ園の拡大は。

**答** 8年度に7園で実施し、状況を把握した上で必要性に応じ対応する。発達に特性のある子どもや、当日の受入れについては、関係者で協議し可能であれば対応していきたい。

**【歳出10款 教育費】**

**問** 磐田部活推進事業の内容は。

**答** 部活動のエリアが広がるため、移動に関する検討を、9月の本格実施に向けて、指導者の検討会の中で固めていく考えである。指導者は、現在約150人の応募があり、教師も含まれている。教師は、兼職兼業を教育委員会が許可し、指導者として地域クラブを担うことになる。

**問** 新たな学校づくり整備事業の内容は。

**答** 磐田北小学校の基本構想は、7年度から9年度までの3か年で予定しており、7年度はコンサルタントの決定、文化財協議の実施、地域の方と対話を進め、8年3月に第1回の検討会を予定している。今後、7、10回の検討会とワークショップやアンケート調査を実施しながら、複合化も視野に基本構想を定めていく予定である。なお、よつば学府は、規模が大きく現段階では充実型学府一校の形で検討している。

## 8年度国民健康保険事業特別会計予算

**問** 予算総額増加の要因は。

**答** 被保険者数の減少に伴う保険給付費の減額はあるが、県の基金を活用した国民健康保険事業納付金の抑制が実施されないこと、子ども・子育て支援金制度の施行による国民健康保険事業費納付金の増額が予算総額増加の主な要因である。

## 8年度後期高齢者医療事業特別会計予算

**問** 市と後期高齢者医療広域連合との連携は。

**答** 広域連合が行う、後期高齢者の検診、一体的な保健事業の取組などに、加盟する35市町が協力することによって、広域連合に国の保険者努力支援、インセンティブ交付金が入ってくる制度がある。交付金が保険料を抑制する一助となるため、市としても広域連合と共に協力していく。



## 議案第21号 特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定

全会一致で可決

これは、「子ども・子育て支援法」の改正に伴い、同法第54号の3において準用する同法第46条第2項の規定により、特定乳児等通園支援事業の運営について条例で基準を定めることとされたため、本市における同事業の運営に関する基準を定める条例を制定するものです。

### 本会議での主な質疑

**問** 地域及び家庭との結び付きを重視した運営とは。

**答** 利用者からの家庭環境等の把握や地域住民との交流を通して地域社会が一緒になって子どもの育ちを支える環境を目指した運営を行うっていく。

**問** 医療的ケア児の受入れ体制は。

**答** 子どもの特性や状況、保護者の状況等について丁寧に把握した上で、医療的ケア児の対応、事業者における受け入れの可能性について検討している。

**問** 人権の擁護、虐待防止等の体制は。

**答** 事業者の人権擁護・虐待防止の担当を設置し利用者が相談できる体制を整えることや、虐待等があった場合の手順の周知、保育士等に対する研修の実施を求めている。

**問** 正当な理由のない提供拒否については。

**答** 子どもの家庭環境、思想信条、障害等の有無、国籍等を理由とした受入れの拒否は認めないよう規定するものです。

### 討論がありました

#### 賛成 利用者の立場に立つて行う事業

今回の条例制定では、こども誰でも通園制度と関連しますが、運営にあたっての事業者が守るべき基準が示されている。運営にあたっては、市も関与しながら利用者の立場に立つて行われるよう求めて賛成する。

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員

#### 賛成 子どもの育ちを応援

子どもの育ちを応援し、家族以外の人と関わる機会や経験をもたらし、子育て家庭の孤立感や不安感の解消にもつながり、保護者の多様な働き方やライフスタイルに関わらないで支援を強化するため創設をされる新たな制度である。

せいわ会 平田直巳 議員

## 議案第30号 国民健康保険税条例の一部改正

賛成多数で可決

これは、8年1月6日に提出された市の国民健康保険事業の運営に関する議会からの答申を踏まえ、税率等の変更を行い、本市国民健康保険事業の健全な運営を図るため、本条例の一部を改正するものです。

(賛成：志・新・セ・愛・創・公 反対：共)

### 本会議での主な質疑

**問** 国民健康保険事業の運営に関する協議会の協議内容と答申の概要は。

**答** 市の国民健康保険事業の運営に関する協議会では、被保険者一人あたりの事業費納付金の伸びを考慮した税率改定や、資産割の廃止、子ども・子育て支援納付金分の賦課方式・税率の協議を行い、答申では、「一人あたり事業費納付金が大幅に増額となるものの、激変緩和策も図られており、急激な負担増への配慮がされている。また、財政健全化のための歳入不足の削減目標も維持されており、諮問の改定案は適当と認める。」との意見をいただいた。また、国保財政の健全化や将来的な県内保険料水準の統一を見据え、歳入不足額の解消に取り組む必要があるが、被保険者の急激な負担増を配慮し、段階的な改定を図るよう考慮した。

### 討論がありました

#### 反対 保険税をさらに引き上げ

毎年のように値上げされ、高すぎる保険税が加入している市民の暮らしに大きな影響を及ぼしている。今回の条例改正では、8年度及び9年度の税率引上げで、さらに10年度以降も、住民負担増が見込まれ、問題である。

日本共産党磐田市議団 根津康広 議員

#### 賛成 急激な負担増を配慮

国保財政の健全化や将来的な県内保険料水準の統一を見据え、歳入不足額の解消に取り組む必要があるが、被保険者の急激な負担増を配慮し、段階的な改正を図るよう考慮されており、所得に応じた減免措置も講じられている。

せいわ会 平田直巳 議員

市政を問う

一般質問 要旨

一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。2月定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。発言した順番で主な内容をお知らせします。

一般質問は内容を要約して掲載しています。詳しくは、インターネットの録画映像をご覧ください。

磐田市議会 配信

検索

交通安全について / AED設置と応急手当の普及について

市民と創る磐田 高塚静子議員



交通安全

**問** 8年4月から始まる交通反則通行制度（青切符）の前に、違反を未然に防ぐための教育と環境整備が大切である。市民への周知・啓発方法は、

**答** 動画やSNSの活用は、広域的な啓発や若者世代だけでなく外国人の方にも有効なため、チラシ等も含めて、多言語により周知・啓発を行っていききたい。

**問** 自転車利用時にヘルメットを着用していないと致死率が2倍になるともいわれる。今後の啓発の進め方は、

**答** 幅広い世代への啓発が必要のため、デジタルとアナログの両方を活用し、関係機関や団体と連携して啓発したい。

**問** 高齢者の交通事故件数が年々増加しており、交通安全教育や啓発の見直しが必要である。今後の進め方は、

**答** 関係団体と連携し周知活動を行うとともに、先端技術を活用し、自身の運転傾向を客観的に把握していただき、運転の改善に活かしていただく取組も展開していきたい。



AED設置と応急手当の普及

**問** 24時間の利用が可能でも効果が低いといわれる、コンビニエンスストアへのAED設置の考えは、

**答** 費用や効果等の検討が必要のため、今後、コンビニを含め、望ましい設置場所や設置数について、課題の整理や情報収集を行っていく。

**問** 心肺蘇生法やAED使用の普及啓発の取組は、

**答** AEDを用いた心肺蘇生を行える人を増やすため、消防職員等による救命講習を実施している。今後は一般市民を対象とした応急手当普及員の養成にも力を入れ、受講機会の拡充と質の向上を図っていく。

<b>総務委員会</b>	委員長：加藤文重 副委員長：加藤公人	委員：玉木良汰、伊藤克之、鈴木弥栄子、小池和広 戸塚邦彦、鳥居節夫、根津康広
--------------	-----------------------	---

**消防団員条例の一部改正**

● 磐田市消防団員の条例定数の見直しに伴い、本条例の一部を改正するもの。

**議案の内容**

**問** 方面隊への影響と消防団への事前説明は、

**答** 方面隊ごとに応援協力体制を構築しているため、影響はない。また、消防団本部に今の実情を説明し適正人数等、丁寧な説明と検討をしてきた。(仮称)磐田市消防署消防庁舎造成外工事請負契約の締結

**議案の内容**

● 市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるもの。

**問** スケジュールの把握は、

**答** 2か月ごとに市と業者間で打ち合わせを行い、進捗状況を確認しながら工事を進めていく。

<b>民生教育委員会</b>	委員長：松野正比呂 副委員長：平田直巳	委員：永井新次、宮崎真理子、高塚静子 秋山勝則、高梨俊弘、岡 貴
----------------	------------------------	-------------------------------------

**磐田市立学校の施設開放に関する条例の一部改正**

● 学校体育館への空調設備の設置に伴い、空調設備を利用者に開放することから条例の一部を改正するもの。

**議案の内容**

**問** 各学校に設置する空調機器と使用料の違いは、

**答** スポットバズーカは温度成層型電気モーターヒートポンプで、少ない台数で体育館の競技面に冷風・温風を送ることができ、機器である。マルチエアコンGHPは都市ガスやLPガスを使用するものである。使用料は、光熱水費実費相当分に基づいて算出している。

**問** 空調を使用するときの予約方法と使用方法は、

**答** 公共施設予約システムで空調使用の有無を選択して予約し、スマートロックで鍵を開け操作盤で空調を使用する。

**特別史跡遠江国分寺跡中門・回廊整備工事請負契約の変更**

● 回廊基壇復元に使用する木材の調達等に日時を要したため、工期を6か月延長して8年9月25日までとするもの。

**議案の内容**

**問** 契約延伸理由の詳細と整備計画への影響は、

**答** 木材の調達に当たり、猛暑等の影響で予定していた兵庫県からの調達も試みたことで必要量の確保は出来たが、当初計画に対し3か月ほど遅れているが、6か月の延長で9月末に終了できる。8年度と工事時期が重複するが、全体の整備計画への影響はないと考えている。



特別史跡遠江国分寺跡 再整備イメージ図

<b>建設産業委員会</b>	委員長：永田隆幸 副委員長：本間昭男	委員：鈴木百合子、浦木尚行、大迫由美子 江塚 学、芦川和美、芥川栄人
----------------	-----------------------	---------------------------------------

**水道事業給水条例の一部改正**

● 6年の能登半島地震の教訓を踏まえ、指定給水装置工事事業者に関する制度を見直すもので、災害その他非常の場合において市長の判断により、他の地方自治体の長が指定した者等が給水装置工事を行うことができるようにするため、本条例の一部を改正するもの。

**議案の内容**

**問** 災害時に応援を要請する他の自治体の優先順位は、

**答** 協定を結んでいる日本水道協会の事業体の中で、まずは県内の西部・中部・東部の順とし、県内で難しい場合は、中部地方ブロックの自治体へ要請する。

**問** 工事の賠償責任は、

**答** 条例の対象は宅内の工事であり、家主と工事業者が契約し、発注することになる。



## 浜岡原子力発電所は廃炉に／教育の諸課題



問  
答



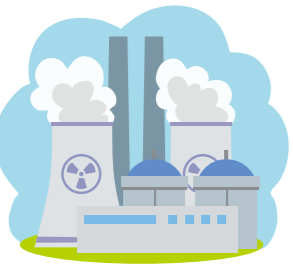
日本共産党磐田市議員 高梨俊弘

### 浜岡原子力発電所は廃炉に

**問** データの不正操作に対する市長の見解は。

**答** 今回の不適切事案は、市民の安全・安心の担保と信頼関係が大きく崩れ、極めて遺憾である。中部電力株式会社に対しては、第三者委員会による原因究明と万全な再発防止策の策定を求めていきたい。  
**問** 周辺7市町による新たな合議体の具体的内容は。  
**答** 浜岡原子力発電所への対応について、意見の確認や集約をする場として新たな合議体の設置を検討することを決定、3月中旬に7市町の首長間で協議を行う予定である。  
**問** 原子力規制委員会に対する市長の見解は。  
**答** 規制委員会の責任を果たしていない。審査体制の見直しも含め、再発防止策の策定を求める要請書を提出した。

**問** 再稼働を断念し廃炉にすべきと考えるが市長の見解は。  
**答** 早期再稼働は極めて厳しい状況になったと認識しているが、地球温暖化や電気料金高騰など市民生活に大きな影



**問** デジタル教科書導入についての見解は。  
**答** 思考力や健康に関する懸念点は国で慎重な議論が行われている。制度改正やガイドライン策定の動向、実証事業の知見等を注視し、児童生徒にとつてより最適な教科書の在り方を慎重に検討していく。  
**問** 図書館業務の民営化、民間委託化についての見解は。  
**答** 市民の学びの場として市長部局と教育委員会が連携して業務を行うので、研究の余地は残しつつも、現時点で民営化、委託化する予定はない。

### 教育の諸課題

## 教育委員会以外の組織による学校問題解決への対応について



問  
答



志政会 伊藤克之 議員

**問** 学校以外が担うべき業務について、どのような認識を持っているのか。  
**答** 働き方改革の一層の推進と働きがいの創出を目標に、学校、教育委員会、市長部局、地域、保護者等が連携・協働した取組になるよう、現在整理をしている。

**問** 教育委員会以外の組織と、学校業務をどのように共有・判断しているのか。  
**答** 総合教育会議を通じて、市長部局や関係組織との連携を進めていく予定である。  
**問** 保護者からの正当な要望と、不当・過度な要求についての基準は。  
**答** 保護者からの声は様々な状況やケースがあるため、基準は設けていないが、相談担当職員、スクールロイヤーとの連携や子ども若者家庭センターとの情報共有などを行いながら、適切な対応に努めている。

**問** 通訳だけでは対応が難しい外国人への制度説明や進路理解支援について、他部局がどのように関与していくのか。  
**答** 8年度から再編される予



**問** 児童生徒支援課を中心に、学校と連携して対応していきたいと考えている。  
**問** 課題が教育委員会に集中している現状を、どのように認識しているのか。  
**答** 学校現場はもとより、教育委員会事務局へも様々な御意見や課題をいただいている中、相手の思いに寄り添い、事実を一つ一つ確認しながら、組織として丁寧に対応することを心がけている。  
**問** 市全体として教育を支えていく体制を今後どのように構築していくのか。  
**答** 市長部局等とさらなる連携を図り、対応していきたいと考えている。

## 磐田駅前中心市街地活性化について／郷土の偉人「青山士」氏の顕彰について



問  
答



せいわ会 戸塚邦彦 議員

### 磐田駅前中心市街地活性化

**問** 現状の課題は。  
**答** 来訪者が駅周辺で回遊・滞在する機会が少ないこと、出店可能な店舗が減少し、新規事業者の参入が難しいことと認識している。

**問** 磐田駅周辺の将来像は。  
**答** 民間団体との共創を念頭に、中長期的視点でまちづくりに取り組むことで、エリア全体の魅力と価値の向上を図り、人が集まるまちを実現することが活性化の目標である。

**問** ローターリーの機能向上は。  
**答** 警察や各種事業者と安全性を考慮した利用方針を協議し、国庫補助金を活用するなどして、現在の使用形態となつていない。スペースから考えても対策の余地が少ないと言わざるを得ないが、現状の送迎エリアの朝夕、雨天時の混雑は認識しており、よりよい在り方を目指し、関係機関と協議し対策案を模索していく。

**問** 無電柱化での道路整備によるまちの活性化は。  
**答** 防災や景観形成の観点から、まちづくりの手法の一つ



磐田駅北口ターミナル

と認識している。商工会議所から南は、8年度からの国の第9期無電柱化推進計画にエントリーする予定である。

### 郷土の偉人「青山士」氏の顕彰

**問** 功績に対する評価は。  
**答** 日本人で唯一、パナマ運河建設工事に携わり、帰国後は荒川放水路建設工事を指揮するなど、本市が生んだ偉大な土木技師と認識している。

**問** 顕彰の取組は。  
**答** 図書館ホームページ内の磐田の著名人一覧や小学校3・4年生向けの社会科副読本でも掲載している。9年度が生誕150周年であり、企画展など、地域の方との共創についても検討してみたい。

## 防災・復興政策について／福祉・生活支援について／行政DXについて



問  
答



公明党磐田 江塚 学 議員

### 防災・復興政策

**問** 「事前復興まちづくり計画」の重要性の認識と現在の策定の進捗状況は。  
**答** 迅速な復旧と復興には計画の策定も重要と認識している。14年度までを目標とし、県が策定中の第5次地震被害想定を踏まえて策定に着手したい。現在は、勉強会等に参加し、知見を深めている。

### 福祉・生活支援

**問** 居住サポート住宅制度の活用の必要性の認識は。  
**答** 市営住宅の供給と並んで重要な施策と位置付けている。困窮者の選択肢の拡大と家主が抱える家賃滞納や原状回復等の不安解消にもつながり、活用の必要性があると考える。

**問** 緊急連絡先・かかりつけ医・本人の意思などを事前に登録・共有する仕組みや、死後事務支援へつなぐ体制は。  
**答** 情報の登録・更新の負担や情報活用での課題もあり、先進地の情報収集や調査・研究を行いたい。死後事務支援

**問** 緊急連絡先・かかりつけ医・本人の意思などを事前に登録・共有する仕組みや、死後事務支援へつなぐ体制は。  
**答** 情報の登録・更新の負担や情報活用での課題もあり、先進地の情報収集や調査・研究を行いたい。死後事務支援

は専門的な分野であり、民間事業者と連携した取組を検討していきたい。

### 行政DX

**問** 戸籍などのコンビニ交付や広域交付制度の開始により利便性が向上する一方で、郵送請求に残る定額小為替等の手続が不便と考える。見解は。  
**答** 改善の余地があると認識しており、キャッシュレス決済の導入に向け研究している。今後は先進事例等を参考に、本市に適した手法を検討する。

**問** 窓口でのカスハラ対策・聴覚障害者対応・多言語対応の観点から、AI音声認識によるリアルタイム文字起こしの必要性の認識は。  
**答** トラブル発生の抑止やコミュニケーションの円滑化に有効であると認識している。



# まちづくりについて／磐田市の諸課題について



問  
答



新磐田 松野正比呂 議員



日本共産党磐田市議団 根津康広 議員

## 職場環境の整備

**問** 教職員の時間外労働の現状と本市独自の改善策は。

**答** 時間外在校等時間の月平均を元年度と6年度で比較すると、小学校が41・4時間から32・19時間、中学校が59・02時間から46・53時間と減少している。ふるさと先生や教育支援員の配置を行い、負担軽減を図っている。

**問** 教職員の精神疾患による休職は。また、教員不足は生じているか。

**答** 6年度中の休職者は4名である。教員不足の現状は、7年2月1日現在、産休・育休・私傷病休等により、市内8校において常勤の教員が不足している。

**問** 国・県にどのような要望をしているか。

**答** 国に対して「教職員定数の改善と学級編成基準の緩和」等を要望している。

## 高齢者福祉の充実策

**問** 訪問介護の介護報酬引き下げ後の影響と支援策は。

## まちづくり

**問** 企業誘致や起業支援などの効果や成果の把握方法は。

**答** 税収効果に加えて市の分析ソフトを活用し、建設工事や売上げ増加に伴う経済波及効果を試算し把握している。概ね3～5年で税収効果が表れ、設備投資や雇用創出など経済波及効果も生まれている。

**問** 市のイベントでの路線バス活用策は。

**答** 大規模イベント開催時にシャトルバス等が運行されることが多いが、公共交通の現状把握や理解のためにも路線バスを利用する機会を設け、バス事業者と協議し、路線バスの活用を検討していく。

## 市の諸課題

**問** 磐田原総合開発株式会社の経営の現状と課題及び今後の経営方針は。

**答** 金融機関への借入金返済は進んでいるが、物価高騰の影響による事業経費の増加など、営業利益が減少傾向であることが課題である。10年度

**答** 市内訪問介護事業所は、1事業所が廃止したことを把握している。支援策は、介護職員等処遇改善加算の算定に関する相談対応、業務効率化にかかる情報提供、介護人材の確保に向けたマッチング機会の創出などを実施している。

**問** 特別養護老人ホームの待機者は解消されたか、また、今後の整備計画は。

**答** 解消するまでには至っていないが、7年4月1日時点で204人、昨年より18人減少した。新たな整備は、第10期介護保険事業計画を策定する中で検討していく。

**問** 交流センターのバリアフリー化の改善策は。

**答** 土足禁止施設の運用変更を検討していくが、エレベーターの設置は難しいと考える。



末の金融機関への返済を最優先し、完済のめどが立った時期に株主の意向も踏まえ、経営方針を協議していきたい。

**問** 芝生化した校庭の維持管理方針と課題は。

**答** 基本的な維持管理は学校が担い、刈り込みや薬剤散布などを委託している。協力者の減少や維持管理経費の増加などから、利用実態に応じて取り組んでいきたい。

**問** (仮称)磐田市応援歌を制定する考えは。

**答** スポーツのまち磐田を推進していくことは市民の一体感の醸成やシティプロモーションにおいて重要と認識している。全国の事例を参考に、応援歌の制定に限らず、スポーツにより市民全体が盛り上がる取組を検討していきたい。



# 情報化の推進について／竜洋海洋公園及び周辺部の活性化について



問  
答



志政会 岡 實 議員



市民と創る磐田 大迫由美子 議員

## AYA世代の健康づくり

**問** AYA世代における健康管理の課題認識は。

**答** 健康状態を把握する機会が少ないことに加え、個人の健康意識によって、健康づくりへの取組に差があることや、AYA世代全体への健康づくりに関する普及、啓発が十分なされていないことが課題であると認識している。

**問** プレコンセプションケアの今後の考え方は。

**答** 生涯を通じた健康づくりを支援する重要な取組であり、連携協定を締結した企業との共創により、若い世代を中心とした周知啓発に取り組みしていきたい。

## ゼロカーボンシティ実現への取組

**問** 再生可能エネルギー導入支援の課題認識は。

**答** 太陽光パネルは、屋根の耐荷重不足や瓦屋根などの屋根形状が適さないなどから、既存住宅への設置が広がりにくいという課題がある。

**問** 市民の前向きな意欲を施策に生かす視点の考えは。

**答** 市民が学び考える機会として、気候変動に関するワークショップなどを開催し、そこで出た意見を今後の環境施策に生かしていきたい。

## 高齢者の生きがいづくりと市歌の活用

**問** 世代を超えた市歌の共有の考えは。

**答** 市歌は、平成27年に合併10周年を記念して制定された当時と変わらず市民の一体感を醸成し、広く市民に親しまれ、歌い継がれていくものと考えている。世代を超えて歌っていただけという、市ホームページの音声や動画、楽譜などの公開や、市民や市民団体などによる市歌活用への支援をしていく。



## 情報化の推進

**問** 交流センターの無料Wi-Fiの整備状況、使用制限は。

**答** 平成30年度から全センターに導入し、利用時間を30分にしましたが、4年度には120分に変更した。7年12月の機器更新の際、通信回線の安定確認のため、30分に変更し、大きな問題もないため120分に戻していく予定である。

**問** 交流センターの無料Wi-Fiの状況は。

**答** Wi-Fi設備が整っていることをロビーの周辺など視認性の高い最適な場所に掲示されているかを点検し、しっかりと周知していきたい。また、利用団体にもPRしていきたい。

## 竜洋海洋公園及び周辺部の活性化

**問** 掛塚湊跡に歴史的な背景を残せるような施設等の設置の考えは。

**答** 防潮堤の整備により掛塚湊跡の再現は難しいため、今

後の再整備事業の中で歴史的な背景を残せる看板等の設置について検討していきたい。

**問** 掛塚灯台の協議状況と活用策並びに掛塚湊跡をセットとした魅力発信、観光振興は。

**答** 6年度に灯台の所有者である海上保安庁と協議し、灯台の文化的な価値の調査について同意が得られた。今後は文化財登録に向けた調査を進めていく。また、掛塚灯台や掛塚湊跡については、磐田市文化財保存活用地域計画の中で点在する文化財を結びつけた町歩き施策の展開を実現するための素材として位置づけている。掛塚地区には、登録有形文化財の旧津倉家住宅や旧掛塚郵便局などの素材もあり、それらを結び付けた活用を検討する。



## 議場の音響・映像設備をリニューアルしました

7年末から8年1月末にかけて議場の音響・映像設備の機器の入れ替えを行いました。8年2月からは新たな機器を使用して本会議を行っています。

ぜひ本会議の傍聴にお越しください。これまでどおり本会議などの生中継や、録画での映像もホームページでご覧いただけます。



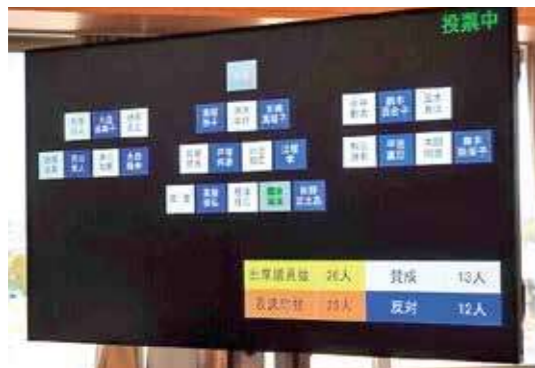
### ●カメラとスピーカーを更新

映像は見やすく、音声ははっきり聞きやすくなりました。



### ●傍聴者向け86インチモニターを新たに設置

会議での発言の内容を文字で分かりやすく表示するようになりました。



### ●電子採決システムを導入

議案に対する賛成者・反対者がモニターに表示されます。



### ●デジタル配信へ変更

インターネット中継も高画質になりました。

## アンコンシャス・バイアスについて／しっぺいを活用した本市の魅力向上と情報発信について



問  
答



愛和 宮崎 真理子 議員

### アンコンシャス・バイアス

**問** 市が目指す多様性を認め合う社会において、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）をどのような問題として捉えているのか伺う。

**答** アンコンシャス・バイアスへの理解は、特定の考え方を押し付けるものではなく多様性を尊重し合い、誰もが自分らしく活躍できる社会づくりの一つのきっかけとして位置づけるものだと考える。

### しっぺいを活用した本市の魅力向上と情報発信

**問** しっぺい活用の成果と今後の方向性について伺う。

**答** 広く認知され、愛され市民の郷土愛の醸成の一助にもつながっている。今後の展開は、しっぺいの認知のみならず、しっぺいを活用した商品開発と販路開拓など、さらなる波及へつなげていく。

**問** しっぺいグッズの購入機会の拡大について伺う。

**答** 市内外のしっぺいファンの皆さんが気軽に購入できる

よう、しっぺいグッズを包括的に取り扱うことのできる販売場所の拡充を検討していく。

**問** ふるさと納税返礼品への活用について、海老芋など地元産物とのコラボレーションによる商品展開やPRなど、本市ならではの特色を生かした取組を進めていく考えはあるか、市の見解を伺う。

**答** 市内事業者の創意工夫を生かした返礼品の充実を図ってきた。今後も事業者と連携し、しっぺいを活用した魅力ある返礼品の創出を進め、寄附額の拡大と本市の魅力発信を図っていく。また、地元農産物とのコラボレーションについては、農産物のPR効果につながるものと認識しており、今後も関係事業者と連携しながら取り組んでいく。



### 一般質問 用語解説



#### ※1 AED (P11)

突然の心停止の際、電気ショックを与えて心臓の動きを正常に戻す医療機器です。

#### ※2 居住サポート住宅 (P12)

高齢者、低所得者、障がい者などが、安心して賃貸住宅に入居できるよう、居住支援法人が見守りや福祉サービスへの橋渡しを行う賃貸住宅です。

#### ※3 DX (デジタルトランスフォーメーション) (P12)

進化したデジタル技術を浸透させることにより、あらゆる面で人々の生活をより良いものへと変化させることです。

#### ※4 カスハラ (カスタマーハラスメント) (P12)

顧客などからの暴行や脅迫、暴言、不当な要求といった著しい迷惑行為のことです。

#### ※5 デジタル教科書 (P13)

紙の教科書の内容をそのままデジタル化した学習用の教材のことで、パソコンやタブレット端末を使用して閲覧できます。

#### ※6 スクールロイヤル (P13)

いじめ、不登校など、学校現場の複雑なトラブルに対し、法的な助言や紛争解決を行う弁護士です。

#### ※7 AYA世代 (P14)

思春期から若年成人のことをいい、15歳から39歳までが相当します。

#### ※8 プレコンセプションケア (P14)

若い男女が将来の妊娠・出産を含めたライフプランを考え、日々の生活や健康と向き合うことです。

#### ※9 ゼロカーボンシティ (P14)

2050年までに二酸化炭素(CO2)の排出量を実質ゼロにすることを目指す旨を公表(宣言)した地方自治体のことです。  
(磐田市は令和3年6月14日に表明)

## Information

### アンケート調査へのご協力について

市議会だよりをよりよいものにしていくため、市民の皆さまから、ご意見を聴かせてください。

右側の二次元コードをスマートフォンにかざすとアンケートフォームが開きます。

回答へのご協力につきまして、よろしくお願いたします。



### 請願・陳情とは

市政などについて、直接、議会に要望できる制度として「請願」「陳情」があります。これらは市民に限らず、どなたでも提出することができます。

#### 【請願】

地方自治法及び市議会会議規則に定められており、市議会議員の紹介が必要です。

#### 【陳情】

市議会議員の紹介は不要です。

#### 【審査等】

所管する委員会に付託され、その内容を慎重に審査した後、本会議（陳情は全員協議会）に報告され採択・不採択が決定されます。郵便による陳情は議長預かりとなります。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。または議会事務局にお問い合わせください。



請願・陳情の詳細は、左のコードを読み込み、ご覧いただけます。

### スマートフォン等からも議会を視聴できます

パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末からも、本会議、予算決算委員会の模様を視聴することができます。生中継・録画中継を配信しておりますので、ぜひご覧ください。



磐田市議会 インターネット中継

検索

### 声の議会だよりをご利用ください

視覚障がいのある方のため、声による議会だよりを制作しています。CD版をご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。



また、市議会ホームページでも公開していますので、ご利用ください

### 政務活動費の適正な使用・透明性の確保に努めています

会派は、議員の調査研究、その他の活動に役立てるための必要な経費の一部として、政務活動費の交付を受けることができます。

政務活動費の適正な使用及び透明性の確保のため、会派は経理責任者を設置し、年度終了時に議長あてに収支報告書・金銭出納簿・領収書等を提出しています。

また、議会事務局においても、すべての提出書類の内容を確認しています。

なお、会派別の収入支出状況・領収書の写し等は市議会ホームページで公開しています。



## 市議会にご意見をお寄せください ご意見ポストのご紹介

市議会では、市政の課題全般に対処するため、市民の皆さんのご意見等を聞く広聴活動に取り組んでいます。今回は、広聴活動のうち、市議会ご意見ポストについてご紹介します。

「ご意見ポスト」は、磐田市役所本庁舎1階と5階にあります。また、市議会ホームページからお寄せいただくこともできます。

#### 本庁舎5階のご意見ポスト



備え付けの記入用紙にご意見等を記入してご意見ポストに投入してください

#### 市議会ホームページのご意見ポスト



市議会ホームページの「ご意見ポスト」をクリックするとご意見ポストの入力フォームが表示されます



2次元コードを読み込んで入力フォームが表示されます

いただいたご意見につきましては、希望される方には回答をいたします。ご意見は、全議員で共有して今後の議会活動に役立てるとともに、市政に関する内容は、市の担当課に伝えます。

## こんなご意見をいただきました

ここでは、7年4月から8年3月までにいただいたご意見の一部を抜粋してご紹介します。

子供達が勉強できるスペースを提供してほしいです。

受験生（中学3年生や高校生）が土日や長期休暇中に勉強できる場所がなくて困っています。近くに図書館がある子ばかりではなく、塾に行っている子でも塾のない日は勉強ができる場所を求めています。

交流センターに自習室を設けていつでも誰でも使えるスペースがあれば使用しやすいような気がします。

大藤地区を車で走っていると道沿いに背丈以上の木がありました。それは放置された茶畑でした。磐田はお茶の産地でもあります。この姿を見てお茶農家さんが減っているのだなと実感したとともに、なぜこうなってしまったのか？をしっかりと考えてほしいと思いました。使われていない農地の有効活用や色々制約があるのかもしれませんが農地を宅地にしやすいようにしてほしいと感じました。

日頃から自転車を利用していますが、自動車との速度差による交通への影響や危険回避の為に出来るだけ自転車通行可能な歩道を通るようにしています。

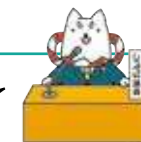
既に通学路では整備を進めていただいております。ありがとうございます。ただし、交差点などでの段差が自転車にとっては大変苦痛で、また自転車へのダメージも心配です。是非段差がない構造で整備していただくと皆さんが自転車をさらに安全・快適に利用出来ると思います。

竜洋地区内に限定されているデマンドタクシーエリアを、周辺の医療機関や商業施設が集積するエリア（磐田、豊田、福田）までに拡大することについて検討をお願いします。

また、広域的な利用ルールを改善し、より広範囲な移動ニーズに対応をお願いします。

核兵器廃絶宣言をしておきながら、核兵器禁止条約に批准しないことには矛盾があります。直ちに日本政府に批准を求める決議を行ってください。

ご意見ありがとうございました。



# 審議結果

## ■全会一致により可決・同意された議案

- (1) 専決処分（7年度一般会計補正予算（第9号））
- (2) 7年度一般会計補正予算（第10号）
- (3) 7年度一般会計補正予算（第11号）
- (4) // 国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
- (5) // 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
- (6) // 介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- (7) // 水道事業会計補正予算（第3号）
- (8) // 病院事業会計補正予算（第3号）
- (9) 8年度一般会計予算
- (10) // 駐車場事業特別会計予算
- (11) // 介護保険事業特別会計予算
- (12) // 広瀬財産区特別会計予算
- (13) // 岩室財産区特別会計予算
- (14) // 虫生財産区特別会計予算
- (15) // 万瀬財産区特別会計予算
- (16) // 水道事業会計予算
- (17) // 下水道事業会計予算
- (18) // 病院事業会計予算
- (19) 特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定
- (20) 公告式条例の一部改正
- (21) 職員定数条例の一部改正
- (22) 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- (23) 会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正
- (24) 手数料条例の一部改正
- (25) 自転車等駐車場条例の一部改正
- (26) 栄町自転車等駐車場条例の一部改正
- (27) 国民健康保険条例の一部改正
- (28) 子ども・子育て会議条例の一部改正
- (29) 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

- (30) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- (31) 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- (32) 水道事業給水条例の一部改正
- (33) 市立学校の施設開放に関する条例の一部改正
- (34) 小中一貫教育の推進等に係る市費負担教員の任用等に関する条例の一部改正
- (35) 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- (36) 消防団条例の一部改正
- (37) 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- (38) 火災予防条例の一部改正
- (39) 熊野伝統芸能館条例の廃止
- (40) 海岸防潮堤建設工事委託に関する契約の変更
- (41) 海岸防潮堤建設工事委託（第2工区）に関する契約の変更
- (42) 7年度特定史跡遠江国分寺跡中門・回廊整備工事請負契約の変更
- (43) 財産の取得の変更
- (44) 市道の路線認定
- (45) 市道の路線変更
- (46) 7年度（仮称）市消防署消防庁舎造成外工事請負契約の締結
- (47) // 一般会計補正予算（第12号）
- (48) // 一般会計補正予算（第13号）
- (49) 副市長選任の同意
- (50) 人権擁護委員の候補者推薦
- (51) 市議会委員会条例の一部改正

## ■その他

- (1) 閉会中の継続調査
- (2) 市議会議員の派遣

## ■意見の分かれた議案

件名	会派名	志政会 7人	新磐田 4人	せいわ会 4人	愛和 4人	市民と創る 磐田 3人	日本共産党 磐田市議団 2人	公明党 磐田 2人
国民健康保険事業特別会計予算		○(※1)	○	○	○	○	×	○(※2)
後期高齢者医療事業特別会計予算		○(※1)	○	○	○	○	×	○(※2)
国民健康保険税条例の一部改正		○(※1)	○	○	○	○	×	○(※2)

※1 志政会の会派人数は7人ですが、永田隆幸議員は欠席のため、採決に加わっていません。

※2 公明党磐田の会派人数は2人ですが、採決は鈴木喜文議長を除いた1人で行います。

○：賛成 ×：反対

## 5月臨時会の予定

(5月18日～5月22日)

日	月	火	水	木	金	土
4/26	28	28	29	30	5/1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
	本会議 (議案上程ほか)				本会議 (採決)	
24	25	26	27	28	29	30

※いずれも午前10時から

日程は変更する場合があります。

聴覚障がい者の皆さまの議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆記者の手配等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局（電話0538-37-4822、ファックス0538-37-4845）までお問い合わせください。

## 表紙の写真

静岡県立磐田北高等学校 3年生

総合文化部 <sup>いとう</sup>伊藤ひかりさん

これは昨年、磐田駅にて撮影した写真です。私たち磐田北高校のチーム「創風」が、約1年かけて実現させた「風鈴大作戦」の初日に撮影しました。クスノキの緑とカラフルな風鈴の色が映えたとても美しい写真に仕上がっていると思います。これから暑さが増す季節ですが、この写真を見て少しでも涼しさを感じていただければ幸いです。



令和8年「二十歳の集い」でアンケートを実施したところ、約4割の方が本紙を「知っている」と答えてくれました。この結果を、若い世代ともつながるための大切な一歩と捉えています。これからも、誰もが手に取りやすくなる分かりやすい紙面づくりに励み、市議会をより身近に感じていただけるよう努めてまいります。（鈴木弥栄子）

## 【広報広聴委員会】

- 委員長：芦川和美
- 副委員長：鈴木弥栄子
- 委員：永井新次、本間昭男、江塚学、鳥居節夫、根津康広

次回は7月1日発行予定です。